

## 投映内容

太陽の動き

方位の確認後、お昼ごろ南中時の太陽。(夏は高く、冬は低い)  
夕方、西に沈む。(夏は北寄り、冬は南寄り)

星の明るさ・色

投映日の星空。夏は20:30ごろ、冬は19:00ごろ。

光害がなく空気のきれいな場所では、肉眼で6等星まで見える。  
星の明るさや色には違いがある。

<明るさ> 1等星、2等星…と数字が増えるにつれ暗くなる。  
<色 冬の投映の方が効果的> 表面温度の違いによって特徴のある色を持つ。  
高い(青白)…ベガ、シリウス 低い(赤)…アンタレス、ベテルギウス

方位の確認

北斗七星またはカシオペア座から北極星を探し、方位磁石がなくても方位を確認できることを知る。

宇宙の話題

投映日に見ることのできる惑星の解説。  
すばる望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡の画像などを  
見ながら、最近の宇宙の話題を伝える。



季節の星座

夏夏の大きな三角や夏の代表的な星座を探す。  
こと座(ベガ)、わし座(アルタイル)  
はくちょう座(デネブ)、さそり座(アンタレス)

冬冬の大きな三角や冬の代表的な星座を探す。  
オリオン座(ベテルギウス、リゲル、オリオン大星雲)、  
おおいぬ座(シリウス)、こいぬ座(プロキオン)  
おうし座(アルデバラン、すばる)、ぎよしや座(カペラ)  
ふたご座(ポルクス、カストル)  
冬の大きな三角、冬のダイヤモンド



【推奨 冬】

※ 星座早見盤(全天版)を  
使った星座探し

星の動き

夏は夏の大きな三角(ベガ)の動きを確認する。  
冬はオリオン座(ベテルギウス)に注目し、1時間ごとの位置と形を確認する。

まとめ ★星の明るさと動き 星にはいろいろな明るさや色があり、星の動きは  
時間とともに東から西へ動く。星座の形は変化しない。

冬は右の2点に  
触れる

- ・北の空の動き 北極星を中心に反時計回りに1日に約1回転する。
- ・全天の星は北極星を中心に反時計回りにまわっている。  
星座の形は変化せず、1日たつとほぼ同じ位置に戻る。

プラネタリウム番組

夏「はくちょう座物語」  
冬「こいぬ座物語」

日の出

東から昇る。(夏は北寄り、冬は南寄り)

質問コーナー